

## 令和６年度「熊本大学女性研究者賞」及び「熊本大学女性研究者奨励賞」 に係る表彰式の開催について（熊本大学）

熊本大学は、令和７年３月２４日に令和６年度「熊本大学女性研究者賞」及び「熊本大学女性研究者奨励賞」の表彰式を開催した。

本制度は、優れた研究成果を挙げた女性研究者及び将来性のある若手女性研究者を表彰することにより、女性研究者の更なる活躍を支援するとともに、学術分野における男女共同参画推進に資することを目的として平成２８年度に創設され、今回で９回目の実施となった。

表彰者数について以前は、「女性研究者賞」「女性研究者奨励賞」各１名だったが、年々、応募数が増えてきたことや専門分野によって評価の視点が異なることから、令和４年度より各賞ともに人文社会科学系、自然科学系、生命科学系の３分野それぞれから１名を選出することにした。また、リカレント教育を推進するために、若手研究者の表彰である「女性研究者奨励賞」は、年齢ではなく、教授相当の職位を有しておらず、かつ、各分野において将来性が期待できる者を対象としている。

熊本県内の女性研究者及び熊本大学を卒業・修了した女性研究者を対象に昨年１２月から今年１月にかけて公募を行い、厳正なる選考の結果、顕著な研究成果を有し、ロールモデルとして推奨するにふさわしい人格と識見を有する研究者を対象とした女性研究者賞には、坂下玲子氏（熊本大学大学院教育学研究科・教授）が、将来性が期待できる女性研究者奨励賞には、山下真里氏（熊本大学大学院人文社会科学研究部（文学系）（教育）・准教授）、Thanda Shew 氏（熊本大学大学院先端科学研究部（工学系）・助教）、岡香織氏（熊本大学大学院生命科学研究部（基礎系）・助教）が選出された。

表彰式では、小川久雄学長から、「今後、この表彰制度を、熊本県全体および熊本大学出身の女性研究者の研究力向上に繋がるものとして発展させていきたい」と挨拶があり、受賞者には、表彰状、楯及び副賞が贈呈された。

引き続き、被表彰者による研究発表会が行われ、受賞者はそれぞれの専門分野における現在の研究と将来の研究計画について発表した。



※記念撮影

前列左から、山下真里氏、坂下玲子氏、小川久雄学長、岡香織氏、Thanda Shwe 氏  
後列左から、倉田賀世副学長（ダイバーシティ担当）、大谷順理事（研究・グローバル戦略・  
産学連携担当）、富澤一仁理事（ダイバーシティ推進(総括)）、前田ひとみ特定事業教員(特  
命担当教授(ダイバーシティ担当))